



世小だより



⑩令和4年10月31日号

伊丹市立笹原小学校

## 秋空の下、思い出となった「修学旅行」と「自然学校」

10月は高学年児童にとって、大きな宿泊行事である「修学旅行」と「自然学校」を行いました。2学期開始時には、コロナ禍第7波が危ぶまれていましたが、2行事とも無事予定通り実施することができました。6年生はこれまで学んできた「平和学習」のまとめとして、10月5～6日に1泊2日で姫路に、また5年生は12～14日に2泊3日で自然あふれる嬉野台生涯教育センターの宿泊施設へと行ってきました。

6年生はまず「県立考古博物館」を訪問し、これまでの人類の歩みや復元されたたくさんの竪穴式住居などについて学びました。その後、国宝である「姫路城」を訪れ天守閣まで上がりながら、お城の構造や戦に備える工夫等について知り、歴史の流れを感じていました。そして、これまで目的をしっかりと持って進めてきた平和学習のまとめとして、姫路市平和資料館を訪れ、実際の戦争の悲惨さや恐ろしさ、当時の様子を知るとともに、セレモニーを通して平和への誓いを行いました。到着した宿泊ホテルでは、密を避けるように食事や入浴を行いながらも、とても楽しい時間を過ごしていたようです。

2日目はセントラルパークへ向かいました。サファリパークでは、いろいろな種類の動物をすぐ間近で見て、バスの中はとても盛り上がり、じっと観察したりするなど、これまで見たことがないような体験をしていたようです。その後は、アミューズメントパークで腕にフリーパスのベルトを巻いて、自分たちの乗りたいアトラクションへ駆け出していました。中にはスリルランドで何回転もするジェットコースターに乗っている子もいました。とにかくみんな満喫していたようです。最後に「これは誰々に…」「自分にはこれを…」と家族へのお土産をあれこれ迷って買っている姿を見ると、とてもほほえましく思いました。



今年5年生は、宿泊先を「丹波少年自然の家」から「嬉野台生涯教育センター」に移し、自然学校を実施しました。

従来でしたら4泊5日で行っていましたが、やはりコロナ禍の影響により全市的に2泊3日で行うこととなりました。残りの2日分は宿泊ではなく、校内での藍染体験や、震災を学ぶ「人と防災未来センター」や淡路島への社会見学として行うことにしています。

宿泊施設では、冒険教育やナイトハイク、飯盒炊さん、キャンプファイヤー等自然にどっぷりとつかった貴重な体験を行いました。どの活動でも友だちと役割分担しながら、協力する姿が見られました。

学校とは異なる子どもたちの姿を見て、一人一人が生き生きと活動していることを嬉しく思いました。



「修学旅行」と「自然学校」の様子は、12月1日・2日・5日・6日に体育館で開催予定の【ICT展】でご覧いただけます。

ICT展では本校で行っている「タブレットを使った学習の様子」や作品、「修学旅行」「自然学校」の様子などを中心に展示しています。

個人懇談の前後の時間帯に体育館でご覧いただけますよう、個人懇談と日を重ねています。コロナ禍に負けず、元に戻しつつある教育活動の中で、生き生きと活動している子どもたちの元気な様子を是非ご覧いただきたく思います。

## 職員着任のお知らせ

10月26日付で、本校図工専科教員として「山本真由子」、11月1日付で介助員として「玉野真紀」に代わり「中野佐和子」が着任いたします。

引き続きどうぞよろしくお願いたします。



